

私のとっておき 長浜



余呉湖の風

堤 義定さん(神照町)



このコーナーは、市民の皆さんのとっておきを紹介する市民情報交流コーナーです。市内の風景、場所、食べ物など、あなたの「とっておき」を紹介してください。市民広報室まで(☎65-6504) ※営利を目的とした利用はできません。

余呉方面に用事があるときや、ゆっくりしたいときに、私は決まって余呉湖を訪れます。

余呉湖のなかでも観光館前の湖畔が私のお気に入りです。ここにたたずむと気持ちのよい風がよく通り、心が落ち着きます。

以前からこの場所を知っていましたが、余呉湖が山に挟まれていることで、特にこの辺りが風の通り道になることを、地元の人に教えてもらいました。

ここに来るたびに、「湖北にはええところがあるもんやな」と実感しています。



6月16日(日) 習慣づけよう 歯と口の健康づくり

楽しみながら歯と口の健康について学べる「湖北口腔保健フェスティバル」。クイズや歯みがき指導など様々なコーナーが用意され、多くの親子連れでにぎわいました。

また、この日は「長浜市親と子のよい歯のコンクール」も開催され、大橋奏太ちゃんと由香さんが最優秀賞を受賞しました。



お口の中をカメラで観察▶



大橋さん
「賞をもらえるとは思ってなかったのですが、びっくりしました。これからは虫歯にならないように頑張りたいです」



特別賞を受賞した
栗本さん(上)と
渡辺さん親子



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> [長浜 ほっとにゅーす] 検索



6月1日(土) 50m流しそうめんに挑戦!

景観まちづくりで有名な高月町雨森地区で「50m流しそうめん」が行われました。

これは、5月の「こいのぼりまつり」で使った竹の有効利用と地区住民の交流のために計画されたもので、雨森竹の会と雨森野球部が、約8mの竹を2つに割り、7本つないで50mのコースを製作。

地元の小学生54人が集まり、流れてくるそうめんを夢中ですくいおいしそうに食べていました。

6月1日(土) 農業が子ども達のなりたい職業に

三田町の田園で、konefa(コネファ)主催の田植えイベントが開催されました。コネファは、「農と人をつなぐ」をスローガンに、生活者に「農」をもっと身近に感じてもらうための活動をしている青年農業者組織です。

市内外の若者約30人が参加し、田植え体験、農業の話や農家マルシェなど、1日農業体験を楽しみました。

コネファのメンバーは、「イベントを通じて農業の魅力を伝え、また子どもの将来なりたい職業に農業が選ばれるようになってほしいですね」と願っていました。



6月9日(日) 外来魚を釣って豊かな余呉湖を取りもどそう!

余呉湖に生息する外来魚を少しでも減らそうと「余呉湖外来魚駆除釣り大会」が開催されました。この釣り大会は、余呉湖の環境や生態系の保全を目的に湖北土地改良区が主催しているもので、今回で7回目となります。

市内外から参加した150人あまりの親子連れらは、岸辺や釣り桟橋から糸を垂らし、ブルーギルなどを次々に釣り上げていました。

この日の駆除量は127.88kgで昨年よりも10kg以上多く駆除することができました。

6月15日(土) 地元でがんばるアーティストの 背中を見て育つ「木のっこ」達

木之本小学校で「木のっこハーモニー」が開催され、児童が日頃の音楽活動の成果を発表。今年度は30回記念で、地元で活躍するアーティストを招いて音楽鑑賞会も開催されました。

出演したのは、地元で活躍する木之本在住の千田壮史さんと余呉在住の木原鮎子さん。

千田さんは、ALT(外国語指導助手)のデイビッド先生とのコンビでロックなどを演奏、木原さんは、ジャズに加え、なじみのある「幸せなら手をたたこう」などを歌い、児童達は体全体で音楽を感じ取り楽しみました。

